

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5372536号
(P5372536)

(45) 発行日 平成25年12月18日(2013.12.18)

(24) 登録日 平成25年9月27日(2013.9.27)

(51) Int. Cl.		F I			
G06F	17/21	(2006.01)	G06F	17/21	538M
H04N	5/91	(2006.01)	H04N	5/91	Z
H04N	5/765	(2006.01)	H04N	5/91	L
H04N	7/173	(2011.01)	H04N	7/173	630

請求項の数 8 (全 27 頁)

(21) 出願番号	特願2009-16223 (P2009-16223)	(73) 特許権者	000002185 ソニー株式会社 東京都港区港南1丁目7番1号
(22) 出願日	平成21年1月28日(2009.1.28)	(73) 特許権者	501431073 ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社 東京都港区港南1丁目8番15号
(65) 公開番号	特開2010-176249 (P2010-176249A)	(74) 代理人	100093241 弁理士 宮田 正昭
(43) 公開日	平成22年8月12日(2010.8.12)	(74) 代理人	100101801 弁理士 山田 英治
審査請求日	平成23年12月27日(2011.12.27)	(74) 代理人	100086531 弁理士 澤田 俊夫
		(74) 代理人	100095496 弁理士 佐々木 榮二

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報処理装置、および情報処理方法、並びにプログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

文書または画像を含むコンテンツを所定のデザインを持つテンプレート上に展開して表示するために適用する異なるデザインの複数のテンプレートをテンプレート属性情報とともに格納した記憶部と、

前記コンテンツの構成情報を検索キーとして、前記テンプレート属性情報とのマッチング処理を行い、マッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択する処理を実行する制御部を有し、

前記記憶部に格納された前記テンプレート属性情報には、前記コンテンツの構成情報とのマッチング処理に適用可能な情報として、少なくともワード情報と、日時情報と、位置

10

情報を含む複数の異なるカテゴリの情報を含み、
前記制御部は、前記マッチング処理において、前記複数の異なるカテゴリの情報を順次適用した処理、または組み合わせて適用した処理、すなわち、前記ワード情報と、日時情報と、位置情報を順次利用した処理、または組み合わせて利用した処理を実行してマッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートを選択する処理を行なう情報処理装置。

【請求項2】

前記制御部は、

前記コンテンツの構成情報である文書情報から検索キーワードを抽出し、抽出した検索キーワードと、前記テンプレート属性情報に含まれるデータとのマッチング処理を実行し

20

て、マッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択する請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記制御部は、

前記コンテンツの構成情報である画像のメタデータを抽出し、抽出したメタデータと、前記テンプレート属性情報に含まれるデータとのマッチング処理を実行して、マッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択する請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記画像のメタデータは、前記コンテンツの構成情報である画像の撮影日時情報であり

10

、
前記制御部は、

画像の撮影日時情報と、前記テンプレート属性情報に含まれるデータとのマッチング処理を実行して、画像の撮影日時情報に一致または類似すると判断される属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択する請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記画像のメタデータは、前記コンテンツの構成情報である画像の撮影位置情報であり

、
前記制御部は、

20

画像の撮影位置情報と、前記テンプレート属性情報に含まれるデータとのマッチング処理を実行して、画像の撮影位置情報に一致または類似すると判断される属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択する請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記情報処理装置は、

複数の通信装置間で送受信されるメッセージの中継サーバであり、

制御部は、

メッセージ送信装置から受信したメッセージの構成情報を検索キーとして、前記テンプレート属性情報とのマッチング処理を行い、マッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択し、選択したテンプレートに前記メッセージの構成情報を展開したポストカード形式の表示データをメッセージ受信装置に提供する処理を実行する請求項 1 ~ 5 いずれかに記載の情報処理装置。

30

【請求項 7】

情報処理装置において実行する情報処理方法であり、

制御部が、文書または画像を含むコンテンツを所定のデザインを持つテンプレート上に展開して表示するために適用するテンプレートを選択するテンプレート選択ステップを実行し、

前記テンプレート選択ステップは、

40

前記コンテンツの構成情報から検索キーを抽出するステップと、

前記検索キーと、テンプレート属性情報とのマッチング処理を行うステップと、

前記マッチング処理において、マッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択するステップとを有し、

前記テンプレート属性情報には、前記コンテンツの構成情報とのマッチング処理に適用可能な情報として、少なくともワード情報と、日時情報と、位置情報を含む複数の異なるカテゴリーの情報を含む、

前記テンプレート選択ステップは、前記マッチング処理において、前記複数の異なるカテゴリーの情報を順次適用した処理、または組み合わせて適用した処理、すなわち、前記ワ

50

ード情報と、日時情報と、位置情報を順次利用した処理、または組み合わせて利用した処理を実行してマッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートを選択する処理を行なうステップである情報処理方法。

【請求項 8】

情報処理装置において情報処理を実行させるプログラムであり、

制御部に、文書または画像を含むコンテンツを所定のデザインを持つテンプレート上に展開して表示するために適用するテンプレートを選択するテンプレート選択ステップを実行させるプログラムであり、

前記テンプレート選択ステップは、

前記コンテンツの構成情報から検索キーを抽出するステップと、

前記検索キーと、テンプレート属性情報とのマッチング処理を行うステップと、

前記マッチング処理において、マッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択するステップとを含み、

前記テンプレート属性情報には、前記コンテンツの構成情報とのマッチング処理に適用可能な情報として、少なくともワード情報と、日時情報と、位置情報を含む複数の異なるカテゴリの情報を含み、

前記テンプレート選択ステップは、前記マッチング処理において、前記複数の異なるカテゴリの情報を順次適用した処理、または組み合わせて適用した処理、すなわち、前記ワード情報と、日時情報と、位置情報を順次利用した処理、または組み合わせて利用した処理を実行してマッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートを選択する処理を行なうステップであるプログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、情報処理装置、および情報処理方法、並びにプログラムに関する。例えばユーザが撮影した写真などの画像データを遠隔地のテレビなどの表示装置に表示するシステムに適用する情報処理装置、および情報処理方法、並びにプログラムに関する。

【背景技術】

【0002】

ユーザが撮影した写真などの画像データは、例えばネットワークを介した通信メッセージに添付して送信することが可能である。このような処理により画像データを遠隔地の表示装置、例えばPCやテレビなどの装置に表示して閲覧することができる。なお、ネットワークを介した画像データの送受信および閲覧システムを開示した従来技術には、例えば特許文献1（特開2004-274260号公報）や、特許文献2（特開2007-52559号公報）などがある。

【0003】

現在、利用されているメッセージ送受信システムには、装置がメッセージを受信した場合に受信メッセージがあることをユーザに知らせる受信通知を可能としたものがある。しかし、受信メッセージに添付された画像の内容はメッセージを開封しなければ知ることができない。

【0004】

例えば、メッセージを受信した装置のディスプレイに受信メッセージのリストであるメッセージリストが表示される。しかし、このメッセージリストには、メッセージ件名や、メッセージ送信者情報が記載されるのみであり、メッセージに含まれる画像の内容は知ることができない。メッセージに添付された画像の内容を知るためには、ユーザはメッセージリストから特定のメッセージを選択して、選択したメッセージを開封しなければならない。

【0005】

例えば多くの画像添付メッセージを受信し、メッセージリストに多くのメッセージが

10

20

30

40

50

ストアップされている状態で、その中の1つの画像のみを見たい場合にも、ユーザは1つ1つのメッセージを順次、選択して順次開封する処理を行って1つ1つのメッセージ添付画像を確認しなければならない。このような処理は、ユーザ負担を増加させるという問題を発生させる。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0006】

【特許文献1】特開2004-274260号公報

【特許文献2】特開2007-52559号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

本発明は、このような状況に鑑みてなされたものであり、メッセージに添付された画像を効率的に確認可能としてユーザ負担を軽減し、さらに、メッセージに対応したデザインを持つテンプレートを利用したポストカードとして表示することを可能とした情報処理装置、および情報処理方法、並びにプログラムを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0008】

本発明の第1の側面は、

文書または画像を含むコンテンツを所定のデザインを持つテンプレート上に展開して表示するために適用する異なるデザインの複数のテンプレートをテンプレート属性情報とともに格納した記憶部と、

前記コンテンツの構成情報を検索キーとして、前記テンプレート属性情報とのマッチング処理を行い、マッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択する処理を実行する制御部を有する情報処理装置にある。

【0009】

さらに、本発明の情報処理装置の一実施態様において、前記制御部は、前記コンテンツの構成情報である文書情報から検索キーワードを抽出し、抽出した検索キーワードと、前記テンプレート属性情報に含まれるデータとのマッチング処理を実行して、マッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択する。

【0010】

さらに、本発明の情報処理装置の一実施態様において、前記制御部は、前記コンテンツの構成情報である画像のメタデータを抽出し、抽出したメタデータと、前記テンプレート属性情報に含まれるデータとのマッチング処理を実行して、マッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択する。

【0011】

さらに、本発明の情報処理装置の一実施態様において、前記画像のメタデータは、前記コンテンツの構成情報である画像の撮影日時情報であり、前記制御部は、画像の撮影日時情報と、前記テンプレート属性情報に含まれるデータとのマッチング処理を実行して、画像の撮影日時情報に一致または類似すると判断される属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択する。

【0012】

さらに、本発明の情報処理装置の一実施態様において、前記画像のメタデータは、前記コンテンツの構成情報である画像の撮影位置情報であり、前記制御部は、画像の撮影位置情報と、前記テンプレート属性情報に含まれるデータとのマッチング処理を実行して、画像の撮影位置情報に一致または類似すると判断される属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択する。

10

20

30

40

50

【0013】

さらに、本発明の情報処理装置の一実施態様において、前記情報処理装置は、複数の通信装置間で送受信されるメッセージの中継サーバであり、制御部は、メッセージ送信装置から受信したメッセージの構成情報を検索キーとして、前記テンプレート属性情報とのマッチング処理を行い、マッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択し、選択したテンプレートに前記メッセージの構成情報を展開したポストカード形式の表示データをメッセージ受信装置に提供する処理を実行する。

【0014】

さらに、本発明の第2の側面は、
情報処理装置において実行する情報処理方法であり、
制御部が、文書または画像を含むコンテンツを所定のデザインを持つテンプレート上に展開して表示するために適用するテンプレートを選択するテンプレート選択ステップを実行し、

前記テンプレート選択ステップは、
前記コンテンツの構成情報から検索キーを抽出するステップと、
前記検索キーと、テンプレート属性情報とのマッチング処理を行うステップと、
前記マッチング処理において、マッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択するステップとを有する情報処理方法にある。

【0015】

さらに、本発明の第3の側面は、
情報処理装置において情報処理を実行させるプログラムであり、
制御部に、文書または画像を含むコンテンツを所定のデザインを持つテンプレート上に展開して表示するために適用するテンプレートを選択するテンプレート選択ステップを実行させるプログラムであり、

前記テンプレート選択ステップは、
前記コンテンツの構成情報から検索キーを抽出するステップと、
前記検索キーと、テンプレート属性情報とのマッチング処理を行うステップと、
前記マッチング処理において、マッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択するステップとを含むプログラムにある。

【0016】

なお、本発明のプログラムは、例えば、様々なプログラム・コードを実行可能な情報処理装置やコンピュータ・システムに対して、コンピュータ可読な形式で提供する記憶媒体、通信媒体によって提供可能なプログラムである。このようなプログラムをコンピュータ可読な形式で提供することにより、情報処理装置やコンピュータ・システム上でプログラムに応じた処理が実現される。

【0017】

本発明のさらに他の目的、特徴や利点は、後述する本発明の実施例や添付する図面に基づくより詳細な説明によって明らかになるであろう。なお、本明細書においてシステムとは、複数の装置の論理的集合構成であり、各構成の装置が同一筐体内にあるものには限らない。

【発明の効果】

【0018】

本発明の一実施例の構成によれば、例えばネットワークを介して送受信されるメッセージなど、文書や画像を含むコンテンツを所定のデザインを持つテンプレート上に展開して表示するために適用する最適なテンプレート選択を行う。メッセージ等に含まれるコンテンツの構成情報、例えばワード、画像の撮影日時、撮影位置情報などを抽出し、これらの情報を検索キーとしてテンプレート属性情報とのマッチング処理を行い、マッチ率の高い

10

20

30

40

50

テンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択する。この処理によりメッセージ等のコンテンツ表示に最適なテンプレート選択が実現される。

【図面の簡単な説明】

【0019】

【図1】本発明の情報処理システムの一構成例について説明する図である。

【図2】サーバが記憶部に格納するデータ構成例について説明する図である。

【図3】データ送信装置と、サーバと、データ表示装置間で実行する通信シーケンスについて説明する図である。

【図4】サーバがメッセージに対応付けたテンプレートを利用したポストカードからなるカードリストの表示例を示す図である。

10

【図5】データ表示装置側において利用されるリモコンとリモコンを利用した処理例について説明する図である。

【図6】サーバがメッセージに対応付けたテンプレートを利用したポストカードの構成例について説明する図である。

【図7】サーバにおいて実行するメッセージの構成情報を利用したテンプレート選択処理について説明する図である。

【図8】サーバにおいて実行するメッセージの構成情報を利用したテンプレート選択処理によって選択したテンプレートの例を示す図である。

【図9】サーバにおいて実行するメッセージの構成情報を利用したテンプレート選択処理によって選択したテンプレートの例を示す図である。

20

【図10】サーバにおいて実行するテンプレート選択処理シーケンスを説明するフローチャートを示す図である。

【図11】データ送信装置と、サーバと、データ表示装置のハードウェア構成例について説明する図である。

【発明を実施するための形態】

【0020】

以下、図面を参照しながら本発明の情報処理装置、および情報処理方法、並びにプログラムの詳細について説明する。なお、説明は、以下の項目順に行う。

1. メッセージ送受信を行う情報処理システムの構成例
2. メッセージ送受信を行う装置間の通信シーケンス例
3. データ表示装置における表示データと表示データに対する処理例
4. メッセージ対応のテンプレート選択処理
5. 各装置のハードウェア構成について

30

【0021】

[1. メッセージ送受信を行う情報処理システムの構成例]

図1に本発明の一実施例に係る情報処理システムの構成例を示す。本発明の一実施例に係る情報処理システムは、図1に示すように、例えば携帯電話などのデータ送信装置110、サーバ120、さらにテレビなどのデータ表示装置130を有する。データ送信装置110、サーバ120、データ表示装置130は、それぞれ無線または有線ネットワークを介した通信を実行する機能を有する装置である。

40

【0022】

データ送信装置110は、メッセージ送信処理を実行し、データ表示装置130はデータ送信装置110の送信したメッセージを受信して表示する処理を行う。サーバ120は、これらデータ送信装置110とデータ表示装置130間のメッセージの中継処理を実行する。

【0023】

データ送信装置110は、カメラ機能を有し、静止画あるいは動画などの画像撮影が可能な構成であり、撮影した画像をメッセージに添付して、メッセージ送信先アドレスを設定して送信する処理を行なう。図1において、メッセージ送信先アドレスの設定された装置はデータ表示装置130であるとする。

50

【 0 0 2 4 】

データ送信装置 1 1 0 は、予め規定されたフォーマットに従って画像添付メッセージを作成して送信する。メッセージフォーマットは、例えば以下の情報を記入または設定可能なフォーマットである。

メッセージ送信先情報 (T o) : 例えば「おじいちゃん、おばあちゃんへ」

メッセージ送信元情報 (F r o m) : 例えば「慶子」

メッセージ本文 : 例えば「お元気ですか・・・」

メッセージ添付画像 : 例えば写真 1 ~ 3 枚

メッセージ送信元アドレス

メッセージ送信先アドレス

10

データ送信装置 1 1 0 は、このような予め規定されたフォーマットに従って画像添付メッセージを作成して送信する。

【 0 0 2 5 】

送信されたメッセージは、サーバ 1 2 0 が受信する。サーバ 1 2 0 は、データ送信装置 1 1 0 からの送信メッセージを受信すると、受信メッセージを記憶部 1 2 1 に格納する。データ送信装置 1 1 0 の送信したメッセージにはメッセージ送信先を示すメッセージ送信先アドレスが設定されている。サーバ 1 2 0 は、受信メッセージをメッセージ送信先アドレス単位で記憶部 1 2 1 に格納する。

【 0 0 2 6 】

サーバ 1 2 0 の管理する記憶部 1 2 1 は、メッセージ送信先アドレス単位で予め区分された記憶領域を有しており、サーバ 1 2 0 は、受信メッセージをメッセージ送信先アドレス単位で整理して記憶部 1 2 1 に格納する。なお、受信メッセージには 1 つ以上の画像データが添付されているものとする。

20

【 0 0 2 7 】

データ表示装置 1 3 0 は、データ送信装置 1 1 0 の送信メッセージに設定されたメッセージ送信先アドレスを持つ装置である。データ表示装置 1 3 0 は、データ表示装置 1 3 0 内の記憶部にメッセージの受信、閲覧を行うためのプログラムであるメッセージ処理アプリケーションを保持している。

【 0 0 2 8 】

データ表示装置 1 3 0 は、メッセージ処理アプリケーションを実行することで、サーバ 1 2 0 の受信したメッセージをサーバ 1 2 0 から取得して表示することができる。なお、データ表示装置 1 3 0 とサーバ 1 2 0 は、例えばインターネットなどのネットワークによって接続されている。

30

【 0 0 2 9 】

データ表示装置 1 3 0 は、メッセージ処理アプリケーションを実行するための事前準備として、サーバ 1 2 0 に対して、データ表示装置 1 3 0 のアドレス登録など、様々な設定処理を含むサービス登録処理を行う。

【 0 0 3 0 】

例えば、図 1 に示すように、アドレス [a b c d @ t v m a l e x y z . c o m] をデータ表示装置 1 3 0 のアドレスとしてサーバ 1 2 0 に登録する。サーバ 1 2 0 は、登録したアドレス単位で、記憶部 1 2 1 にメッセージ格納領域を確保する。

40

【 0 0 3 1 】

サーバ 1 2 0 はデータ送信装置 1 1 0 から送信されたメッセージのメッセージ送信先アドレスを確認し、メッセージ送信先アドレスが登録済みのアドレスに一致する場合、その受信メッセージデータを記憶部 1 2 1 に格納する。

【 0 0 3 2 】

記憶部 1 2 1 のメッセージ格納例を図 2 に示す。図 2 に示すように、サーバ 1 2 0 は、登録済みのメッセージ送信先アドレス単位で記憶部 1 2 1 にメッセージ格納領域を確保しており、受信メッセージは、各メッセージ送信先アドレス対応の記憶領域に格納される。

【 0 0 3 3 】

50

データ表示装置 130 は、所定時間間隔ごとにサーバ 120 にアクセスするポーリング処理を行い、自装置（データ表示装置 130）宛ての新着メッセージがあるか否かの確認を行う。自装置（データ表示装置 130）宛ての新着メッセージがある場合には、サーバ 120 から、データ表示装置 130 に対して新着メッセージがある旨の通知がなされ、データ表示装置 130 に、例えば「新着メッセージがあります」といった表示が行われる。

【0034】

例えば、データ表示装置 130 でテレビ番組を見ているユーザは、この通知を見て新着メッセージがあることを確認することができる。ユーザがメッセージを閲覧したい場合は、メッセージ処理アプリケーションを起動して、サーバ 120 の記憶部 121 に格納されたメッセージを取得して表示する。

10

【0035】

なお、データ表示装置 130 は、新着メッセージの有無に関わらず、任意のタイミングでメッセージ処理アプリケーションを起動して、サーバ 120 の記憶部 121 に格納されたメッセージを取得して表示することが可能である。

【0036】

サーバ 120 は、データ表示装置 130 に対して、データ表示装置 130 側のユーザが既に内容を確認した既読メッセージと、内容を確認していない未読メッセージを区別した態様の表示データ（ポストカード）を作成して提供する。具体的な表示データ例については後段で詳細に説明するが、

例えば、既読メッセージについては、メッセージに含まれるメッセージ本文（テキスト）と、メッセージに添付された写真などの画像を所定のテンプレート上に配置したポストカード（ポストカード A 面）としてデータ表示装置 130 に提供する。

20

【0037】

また未読のメッセージは、例えば、

メッセージ送信先情報（To）：例えば「おじいちゃん、おばあちゃんへ」

メッセージ送信元情報（From）：例えば「慶子」

これらのメッセージ送信先 / 送信元情報のみを表示したポストカード（ポストカード B 面）の形式の表示データとしてデータ表示装置 130 に提供する。

これらの具体的な処理例については後段で説明する。

【0038】

30

[2 . メッセージ送受信を行う装置間の通信シーケンス例]

次に、データ送信装置 110、サーバ 120、データ表示装置 130 間で実行する一連の通信処理シーケンスについて図 3 を参照して説明する。図 3 には、図 1 と同様、データ送信装置 110、サーバ 120、データ表示装置 130 を示している。

【0039】

まず、ステップ S 11 において、データ表示装置 130 は、サーバ 120 に対して自装置のアドレス登録などのサービス登録処理を行う。なお、このサービス登録処理に際しては、自装置のアドレスのみではなく、例えばメッセージ送信を許容する装置のアドレスを登録することも可能である。例えばメッセージ送信を許容する装置としてデータ送信装置 110 のアドレスのみを登録すれば、その他の装置からのメッセージはサーバ 120 において受信拒否され、サーバ 120 の記憶部 121 には格納されない。

40

【0040】

ステップ S 12 は、携帯電話などのデータ送信装置 110 によるメッセージ送信ステップである。メッセージには携帯電話などのデータ送信装置 110 において撮影した画像が添付される。

【0041】

送信メッセージはサーバ 120 が受信し、サーバ 120 はステップ S 13 において、サーバ 120 の管理する記憶部 121 に格納する。たとえば図 2 を参照して説明したように、メッセージ送信先アドレス単位で区分された記憶領域に格納される。

【0042】

50

ステップS 1 4において、新着メッセージが発生したことを示す新着メッセージ通知がデータ表示装置1 3 0に送信され、データ表示装置1 3 0の表示部に表示される。データ表示装置1 3 0に、例えば[新着メッセージがあります]といった表示が行われる。

【0 0 4 3】

なお、先に説明したように、データ表示装置1 3 0は、所定時間間隔ごとにサーバ1 2 0にアクセスするポーリング処理を行い、自装置(データ表示装置1 3 0)宛ての新着メッセージがあるか否かの確認を行っている。このポーリング処理において、自装置(データ表示装置1 3 0)宛ての新着メッセージがあることが確認された場合に、ステップS 1 4の新着メッセージ通知が行われる。

【0 0 4 4】

データ表示装置1 3 0でテレビ番組を見ているユーザは、この通知を見て新着メッセージがあることを確認する。ユーザがメッセージを閲覧したい場合は、ステップS 1 5において、メッセージ処理アプリケーションを起動してサーバ1 2 0にメッセージ閲覧要求を送信する。なお、前述したようにデータ表示装置1 3 0は、新着メッセージの有無に関わらず、任意のタイミングでメッセージ処理アプリケーションを起動して、サーバ1 2 0にメッセージ閲覧要求を送信することが可能である。

【0 0 4 5】

メッセージ閲覧要求を受信したサーバ1 2 0は、ステップS 1 6において、記憶部1 2 1からメッセージを取得し、データ表示装置1 3 0に提供するための表示データ、すなわちポストカードを作成する。

【0 0 4 6】

この表示データとしてのポストカードは、先に説明したように、既読メッセージについては、メッセージに含まれるテキストとメッセージに添付された写真などの画像を所定のテンプレート上に配置したポストカードであり、未読のメッセージは、メッセージ送信先/送信元情報のみを表示したポストカード形式の表示データである。

【0 0 4 7】

ステップS 1 7では、この表示データがデータ表示装置1 3 0に提供される。ステップS 1 8では、データ表示装置1 3 0に、サーバ1 2 0から提供されたデータ、例えば、複数のポストカードから構成される表示データが表示される。

【0 0 4 8】

さらに、ステップS 1 8では、データ表示装置1 3 0側のユーザが、データ表示装置1 3 0対応のリモコン(TVリモコン)の操作部を操作して、未読のポストカードの開封処理や、既読のポストカードの拡大表示処理などを行う。

【0 0 4 9】

[3 . データ表示装置における表示データと表示データに対する処理例]

ステップS 1 7において、サーバ1 2 0がデータ表示装置1 3 0に提供する表示データの例を図4に示す。図4に示す表示データ2 0 0は、データ表示装置1 3 0が、サーバ1 2 0に対してメッセージ閲覧要求を実行した場合に、データ表示装置1 3 0の表示部に表示されるデータ例である。この表示データは、サーバ1 2 0が記憶部1 2 1に記憶しているデータ表示装置1 3 0対応のアドレスをメッセージ送信先アドレスとした複数のメッセージをポストカード形式として設定したカードリストである。

【0 0 5 0】

図4に示すように、カードリストは、複数のポストカードが重なった表示態様として表示される。

表示されるポストカードは、以下の態様を持つポストカードである。

既読メッセージは、メッセージに含まれるメッセージ本文(テキスト)と、メッセージに添付された写真などの画像を所定のテンプレート上に配置したポストカードである。

これらは、図4に示すポストカード2 1 1, 2 1 3, 2 1 5に対応する。

【0 0 5 1】

また、未読メッセージは、

10

20

30

40

50

メッセージ送信先 / 送信元情報のみを表示したポストカードとなる。

これらは、図 4 に示すポストカード 2 1 4 , 2 1 6 に対応する。

【 0 0 5 2 】

さらにカードリストにはアプリケーション設定カード 2 1 2 が含まれる。アプリケーション設定カード 2 1 2 は、メッセージ処理アプリケーションの設定処理や、設定変更処理などを行う際にユーザが選択する。

【 0 0 5 3 】

データ表示装置 1 3 0 側のユーザは、データ表示装置 1 3 0 に対応するリモコン (TV リモコン) を操作して、表示リストから希望のデータ (ポストカードまたはアプリケーション設定カード) を選択して、選択データに対する処理を行うことができる。例えば、図 5 に示すようなリモコン 3 0 0 を操作する。

10

【 0 0 5 4 】

リモコン 3 0 0 の左右指示ボタン 3 0 1 , 3 0 2 を操作することで、データ表示装置 1 3 0 の表示データからの選択データを図 5 に示す矢印 3 1 1 , 3 1 2 に従って移動させることができる。すなわち、左右指示ボタン 3 0 1 , 3 0 2 を操作することで、各ポストカードの順番を入れ替えて、各ポストカードを順番に最前列の位置に移動させるページ送りを行うことができる。いずれかのデータを選択した状態で決定ボタン 3 0 3 を押下することで、選択データに対する処理を開始することができる。

【 0 0 5 5 】

例えば、図 4 に示すポストカード 2 1 1 , 2 1 3 , 2 1 5 のいずれかを選択して拡大表示することができる。あるいは未読メッセージ 2 1 4 , 2 1 6 を選択して開封処理を行うことができる。開封処理を行うと、メッセージに含まれる文書 (テキスト) と画像が、サーバ 1 2 0 の保有する既読メッセージ対応のテンプレート上に展開され、既読メッセージ対応のポストカード形式で表示される。メッセージ本文 (テキスト) と、メッセージに添付された写真などの画像を所定のテンプレート上に配置したポストカードである。

20

【 0 0 5 6 】

アプリケーション設定カード 2 1 2 を選択した場合は、メッセージ処理アプリケーションの設定処理や、設定変更処理などを行うことができる。

【 0 0 5 7 】

開封済みの図 4 に示すポストカード 2 1 1 , 2 1 3 , 2 1 5 のいずれかを選択して、決定ボタンを押下することで、選択したポストカードが拡大表示される。メッセージ本文 (テキスト) と、メッセージに添付された写真などの画像を所定のテンプレート上に配置したポストカードである。図 6 に、拡大表示した場合のポストカード 3 5 0 の一例を示す。図 6 に示すように、ポストカード 3 5 0 は、予め様々なデザインが施されたテンプレート 3 5 1 に、データ送信装置 1 1 0 が送信したメッセージに含まれるメッセージ本文 (テキスト) 3 5 2 と、写真などの画像データ 3 5 3 , 3 5 4 を配置した構成を持つ。

30

【 0 0 5 8 】

テンプレートは、予めサーバ 1 2 0 が記憶部 1 2 1 に格納しているデータである。サーバ 1 2 0 は、異なるデザインを持つ多数のテンプレートを記憶部 1 2 1 に保持している。例えばデータ表示装置 1 3 0 側のユーザによってメッセージの開封処理が行われると、サーバ 1 2 0 は、サーバ 1 2 0 の保有する多数のテンプレートから、ランダムに、あるいはメッセージに含まれる情報を取得して取得情報に基づいて 1 つのテンプレートを選択し、メッセージに含まれる文書と画像をテンプレート上に配置したポストカードを生成する。

40

【 0 0 5 9 】

サーバ 1 2 0 は生成したメッセージ対応のポストカードをデータ表示装置 1 3 0 に提供する。なお、一度開封されたメッセージに対しては、その後、既読メッセージであることを示す識別情報 (フラグ) が設定される。既読メッセージは、既読を示す識別情報 (フラグ) と、ポストカード生成に利用したテンプレートとのリンク情報とともにサーバ 1 2 0 の記憶部 1 2 1 に格納される。未読メッセージについても、未読メッセージであることを示す識別情報が設定されて記憶部 1 2 1 に格納される。未読メッセージに対しては、図 4

50

のポストカード216に示すようなメッセージ送信先/送信元情報のみを表示するテンプレートがリンク情報として設定される。

【0060】

なお、サーバ120によるメッセージに対応するポストカードの生成処理のタイミングは、データ表示装置130側のユーザによるメッセージ開封処理時に実行してもよいし、データ送信装置110からのメッセージ受信処理に際して実行する構成としてもよい。

【0061】

サーバ120の実行するポストカードの生成処理は、
未読メッセージ対応のテンプレート選択処理、
既読メッセージ対応のテンプレート選択処理、
これらのテンプレート選択処理を含む処理として行われる。

10

【0062】

サーバ120は、既読メッセージ対応のテンプレートとして、様々なデザインを持つ多数種類のテンプレートを記憶部121に格納している。サーバ120は、メッセージに対応付けるテンプレートを多数のテンプレートから1つ選択する。このテンプレート選択処理が実行されると、サーバ120は、記憶部121に格納するメッセージに対して選択したテンプレートをメッセージに対応するリンク情報として設定して記憶部に格納する。また、未読メッセージ対応のテンプレートは、図4のポストカード216に示すようなメッセージ送信先/送信元情報のみを表示するテンプレートである。このテンプレートは1つのみとしてもよいが、複数の異なるテンプレートから選択する構成としてもよい。この未読メッセージのテンプレートについても、メッセージに対応するリンク情報として設定して記憶部に格納する。

20

【0063】

サーバ120は、既読メッセージについては、既読メッセージ対応のテンプレートとのリンク情報と、既読であることを示す識別情報(フラグ)をメッセージに対応付けて記憶部121に格納する。

未読メッセージについては、未読メッセージ対応のテンプレートとのリンク情報と、未読であることを示す識別情報(フラグ)をメッセージに対応付けて記憶部121に格納する。

なお、未読メッセージについては、さらに開封処理後に利用するために、予め既読メッセージ対応のテンプレートを選択しておいてもよい。この場合は、予め選択した既読メッセージ対応のテンプレートとのリンク情報も未読メッセージに対応付けて記憶部121に格納する構成としてもよい。

30

【0064】

サーバ120は、図4に示すカードリストを生成する場合に、各メッセージ対応の識別情報(フラグ)を参照して表示態様を決定する。

すなわち、既読メッセージは、既読メッセージ対応のテンプレートにメッセージ本文(テキスト)と、写真などの画像データを展開したポストカード、

未読メッセージは、メッセージ送信先/送信元情報のみを表示するテンプレートを利用したポストカード、

40

このような異なるポストカード形式の表示データを生成してデータ表示装置130に提供する。

【0065】

データ表示装置130側のユーザによって未読メッセージの開封処理が行われた場合は、サーバ120は以下の処理を行う。

そのメッセージに既読メッセージ対応のテンプレートがリンクデータとして既に関連付けられている場合は、その関連付けられた既読メッセージ対応のテンプレートを利用して、メッセージ本文(テキスト)と画像をテンプレート上に配置したポストカードを生成してデータ表示装置130に提供する。さらに、メッセージの開封/未読状態を識別するための識別情報(フラグ)を開封状態に設定して記憶部121に格納する。

50

【 0 0 6 6 】

また、データ表示装置 1 3 0 側のユーザによって未読メッセージの開封処理が行われた時点で、その新規開封メッセージにリンクした既読メッセージ対応のテンプレートが設定されていない場合は、サーバ 1 2 0 は以下の処理を行う。

【 0 0 6 7 】

サーバ 1 2 0 は、新たに開封処理がなされたメッセージに対応する既読メッセージ対応のテンプレートの選択処理を実行する。次に、選択したテンプレートを利用して、メッセージに含まれるメッセージ本文（テキスト）と画像をテンプレート上に配置したポストカードを生成してデータ表示装置 1 3 0 に提供する。さらに、選択したテンプレートをメッセージ対応のテンプレートとするリンク情報を設定し、メッセージの開封 / 未読状態を識別するための識別情報（フラグ）を開封状態に設定して記憶部 1 2 1 に格納する。

10

【 0 0 6 8 】

データ表示装置 1 3 0 宛てに送信されたメッセージは、このような処理によって、図 4 に示すような複数のポストカードが重なったカードリストとして表示されることになる。

【 0 0 6 9 】

データ表示装置 1 3 0 側のユーザは、図 5 を参照して説明したリモコン 3 0 0 の操作によってポストカードを順次選択して拡大表示することが可能である。この場合、既読メッセージに対しては、メッセージの再開封処理を行うことなくメッセージに含まれるメッセージ本文と、写真などの画像をポストカード形式で確認することが可能となる。

【 0 0 7 0 】

すなわち、リモコン 3 0 0 の左右ボタン 3 0 1 , 3 0 2 によるポストカードの選択と、決定ボタン 3 0 3 の操作のみで、図 6 に示すメッセージに含まれるメッセージ本文と、写真などの画像をポストカード形式で確認できる。ユーザはメッセージの再開封処理を行うことなくメッセージ本文やメッセージに添付された画像を確認可能であり、ユーザの負担が軽減される。

20

【 0 0 7 1 】

[4 . メッセージ対応のテンプレート選択処理]

次に、サーバ 1 2 0 において実行するメッセージに対応するテンプレート選択処理の詳細について説明する。先に説明したように、サーバ 1 2 0 は、異なるデザインを持つ多数のテンプレートを記憶部 1 2 1 に保持している。

30

【 0 0 7 2 】

サーバ 1 2 0 は、データ送信装置 1 1 0 からメッセージを受信し、記憶部 1 2 1 に格納する際、あるいはデータ表示装置 1 3 0 側のユーザによってメッセージの開封処理が行われた際に、メッセージに対応付けるテンプレートの選択処理を行う。

【 0 0 7 3 】

サーバ 1 2 0 はサーバ 1 2 0 の記憶部 1 2 1 に格納済みの多数のテンプレートから、ランダムに、あるいはメッセージに含まれる情報に基づいてテンプレートを選択する処理を行う。この選択テンプレート上にメッセージに含まれる文書と画像を配置してポストカードを生成する。

【 0 0 7 4 】

なお、前述したように、サーバ 1 2 0 は、未読メッセージ、既読メッセージ対応のテンプレートとして、様々なデザインを持つ多数のテンプレートを記憶部 1 2 1 に格納している。サーバ 1 2 0 は、メッセージに対応付けるテンプレートを選択し、選択テンプレートを各メッセージのリンク情報として設定する。その後、サーバ 1 2 0 は、データ表示装置 1 3 0 からのメッセージ閲覧要求に応じて、選択テンプレートにメッセージの構成要素である文書や画像を展開したポストカードを生成してデータ表示装置 1 3 0 に提供する。

40

【 0 0 7 5 】

例えば、サーバ 1 2 0 は、メッセージに含まれる情報を解析し、解析情報を利用してメッセージにふさわしいと判断されるテンプレートを選択する。テンプレート選択に利用可能なメッセージに含まれる情報としては、例えば以下の情報がある。

50

【 0 0 7 6 】

メッセージのタイトルや本文中に含まれる文字列

例えば「入学式」、「海外旅行」、「山」、「海」、「花」、「地名（東京、アメリカ、ハワイなど）」、「季語（春、夏、など）」

これらの文字列をキーワードとしてテンプレートの選択を行うことができる。

【 0 0 7 7 】

あるいは、メッセージに添付された写真などの画像に対応して設定された属性情報を取得して、取得した属性情報を利用して、テンプレートの選択を行うことができる。

例えば写真ファイルとして作成される E x i f データには属性情報として「撮影日時情報」、GPS を利用して取得された「撮影位置情報」、カメラ機能として顔検出、笑顔検出機能を有する場合は、「顔検出情報」、「笑顔検出情報」などが含まれている。サーバはこれらの画像対応の属性情報に基づいて、テンプレート選択を行う。

10

【 0 0 7 8 】

サーバ 1 2 0 がメッセージ対応のテンプレート選択を行う場合の具体的な処理例について図 7 を参照して説明する。

図 7 には、

- (a) メッセージに含まれる情報
- (b) メッセージから抽出するテンプレート選択に適用する情報
- (c) テンプレートに設定されたテンプレート属性情報

これらの各情報を示している。

20

【 0 0 7 9 】

(a) メッセージに含まれる情報としては、例えば以下の情報がある。

- (a 1) メッセージ送信先情報 (T o) : 例えば「おじいちゃん、おばあちゃんへ」
- (a 2) メッセージ送信元情報 (F r o m) : 例えば「慶子」
- (a 3) メッセージ本文 : 例えば「お元気ですか・・・」
- (a 4) メッセージ添付画像 : 例えば写真 1 ~ 3 枚
- (a 5) メッセージ送信元アドレス
- (a 6) メッセージ送信先アドレス
- (a 7) メッセージ送信日時情報

これらの情報が含まれる。

30

【 0 0 8 0 】

サーバ 1 2 0 は、テンプレート選択対象となるメッセージに含まれる「(a) メッセージに含まれる情報」から、図 7 (b) に示す「テンプレート選択に適用する情報」を抽出する処理を行う。

(b) メッセージから抽出するテンプレート選択に適用する情報としては、例えば、

- (b 1) メッセージタイトルや本文から抽出するキーワード
- (b 2) メッセージ送信日時、添付画像の属性情報から取得される画像撮影日時などの日時情報

(b 3) 添付画像の属性情報から取得される画像撮影位置を示す位置情報

(b 4) 添付画像、または添付画像の属性情報から取得される顔あるいは笑顔検出情報

サーバ 1 2 0 は、例えばこれらの情報をテンプレート選択情報としてメッセージから取得する。

40

【 0 0 8 1 】

なお、(b 4) の「顔あるいは笑顔検出情報」は、添付画像の属性情報（例えば E x i f ファイルなど）から取得してもよいし、サーバ 1 2 0 自身が添付画像の画像解析を実行して、画像に顔（または笑顔）領域が含まれるか否かを野判定を実行してその判定結果をテンプレート選択に用いる構成としてもよい。

【 0 0 8 2 】

サーバ 1 2 0 は、メッセージから図 7 に示す「(b) テンプレート選択に適用する情報」を取得すると、これらの情報に基づいてテンプレート選択処理を行う。サーバ 1 2 0 の

50

記憶部 1 2 1 には予め作成済みの多数のテンプレートが格納されている。これらのテンプレートの各々には予めテンプレート選択処理に適用するためのテンプレート属性情報が設定されている。

【 0 0 8 3 】

テンプレート属性情報には、例えば以下のような様々な情報が記録されている。

「春」、「入学式」、「海」、「4月」、「5月」、「アメリカ」、「楽しい」、などのワードや、位置情報（経度／緯度）、地域情報（北海道・ハワイ・・・）、

これらの情報は、テンプレート選択に適用される情報である。

【 0 0 8 4 】

サーバ 1 2 0 は、図 7 (b) に示す「 (b) テンプレート選択に適用する情報」と、 (c) に示す「 (c) テンプレート属性情報」とのマッチング処理を行う。このマッチング処理をあらかじめ定めたシーケンスに従って実行し、1つのテンプレートを選択する。

【 0 0 8 5 】

例えば、第 1 の処理として、 (b) メッセージ内情報に含まれるキーワードと、 (c) テンプレート属性情報として記録されたワードとのマッチング処理を実行して、マッチする属性情報を持つテンプレートが検出された場合は、そのテンプレートをメッセージ対応テンプレートとして選択する。

このキーワードマッチング処理において、テンプレートが抽出されなかった場合は、第 2 の処理として、画像の撮影日時情報を利用して、撮影日時に対応する日時、あるいは月、あるいは季節情報を属性情報として持つテンプレートをメッセージ対応テンプレートとして選択する。

【 0 0 8 6 】

あるいは、メッセージから抽出された全ての「 (b) テンプレート選択に適用する情報」を適用して、「 (c) テンプレート属性情報」とのマッチ率が最も高い属性情報を持つテンプレートをメッセージ対応テンプレートとして選択する処理を行ってもよい。

【 0 0 8 7 】

選択したテンプレートを利用したポストカードの例を図 8 、図 9 に示す。

図 8 は、「4月」、「春」あるいは「入学式」、「桜」などのキーワードを持つメッセージに対応して選択されたテンプレートの例である。メッセージのタイトル、本文、あるいは画像の属性情報から取得されるキーワード、または画像撮影日時情報、あるいはメッセージ送信日時情報などを利用して、桜の花びらをデザインしたテンプレート 4 1 0 が選択される。

【 0 0 8 8 】

テンプレート 4 1 0 は、サーバ 1 2 0 の記憶部 1 2 1 にテンプレートの属性情報とともに格納されている。このテンプレート 4 1 0 の属性情報は、例えば、上記の検索キーワード「4月」、「春」、「入学式」、「桜」などのワードデータを含む設定となっている。サーバ 1 2 0 はこれらのワードを適用したキーワードマッチング処理によって、「4月」、「春」あるいは「入学式」、「桜」などのキーワードを持つメッセージに対応するテンプレートとして、図 8 に示すテンプレート 4 1 0 を選択することができる。

【 0 0 8 9 】

テンプレート 4 1 0 には、予め図 8 に示すように、メッセージ本文表示領域 4 1 1 、第 1 画像表示領域 4 1 2 、第 2 画像表示領域 4 1 3 などのメッセージ格納情報を貼り付ける領域が設定されている。ポストカード作成時には、これらの各領域にメッセージ本文と、メッセージ添付画像を貼り付ける処理を行い、この処理の結果、完成したポストカードをデータ表示装置 1 3 0 に提供する。データ表示装置 1 3 0 の表示部には、図 8 に示すテンプレート 4 1 0 にメッセージ送信装置 1 1 0 の送信したメッセージに含まれるメッセージと画像が貼り付けられて表示される。

【 0 0 9 0 】

図 9 は、「8月」、「夏」あるいは「海」などのキーワードを持つメッセージに対応して選択されたテンプレートの例である。メッセージのタイトル、本文、あるいは画像の属

10

20

30

40

50

性情報から取得されるキーワード、または画像撮影日時情報、あるいはメッセージ送信日時情報などを利用して、海や、船、ヨット、島などをデザインしたテンプレート430が選択される。

【0091】

テンプレート430は、サーバ120の記憶部121にテンプレートの属性情報とともに格納されている。このテンプレート510の属性情報は、例えば、上記の検索キーワード「8月」、「夏」、「海」などのワードデータを含む設定となっている。サーバ120はこれらのワードを適用したキーワードマッチング処理によって、「8月」、「夏」あるいは「海」などのキーワードを持つメッセージに対応するテンプレートとして、図9に示すテンプレート430を選択することができる。

10

【0092】

テンプレート430には、図8に示すテンプレート410と同様、メッセージ本文表示領域431、第1画像表示領域432、第2画像表示領域433などのメッセージ格納情報を貼り付ける領域が設定されている。ポストカード作成時には、これらの各領域にメッセージ本文と、メッセージ添付画像を貼り付ける処理を行い、この処理の結果、完成したポストカードをデータ表示装置130に提供する。データ表示装置130の表示部には、図8に示すテンプレート430にメッセージ送信装置110の送信したメッセージに含まれるメッセージと画像が貼り付けられて表示される。

【0093】

サーバ120の記憶部121は、テンプレート選択処理に適用するテンプレートが多数、格納されている。すなわち、サーバ120の記憶部121には、文書または画像を含むコンテンツ(メッセージ)を所定のデザインを持つテンプレート上に展開して表示するために適用する異なるデザインの複数のテンプレートがテンプレート属性情報とともに格納されている。サーバ120の制御部は、コンテンツ(メッセージ)の構成情報を検索キーとして、テンプレート属性情報とのマッチング処理を行い、マッチ率の高いテンプレート属性情報を持つテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ(メッセージ)対応テンプレートとして選択する処理を実行する。

20

【0094】

サーバ120の実行するテンプレート選択シーケンスの一例について、図10に示すフローチャートを参照して説明する。図10に示すフローチャートに従った処理は、サーバ120のプログラム実行部としての制御部において実行される。図10に示すフローチャートに従った処理を実行させるためのプログラムはサーバ120内の記憶部に記憶されている。

30

【0095】

なお、図10に示すフローチャートは、サーバ120の実行するテンプレート選択シーケンスの一例であり、このフローでは、

第1のテンプレート選択処理として、キーワードマッチング処理、

第2のテンプレート選択処理として、画像の撮影日時情報を利用した処理、

第3のテンプレート選択処理として、画像の撮影位置情報を利用した処理、

これらのあ3の処理をシーケンシャルに実行してテンプレート選択処理を行う。これら3つの処理によって、テンプレートが選択できなかった場合は、ランダム選択によってメッセージ対応のテンプレートを選択する。

40

【0096】

図10に示すフローの各ステップの処理について説明する。

まず、ステップS101において、テンプレートに対応付けるメッセージのタイトルと、メッセージ本文から抽出したキーワードと、テンプレート対応の属性情報として登録されたワードとのマッチング処理を実行する。

【0097】

ステップS102において、マッチするキーワードが検出されたか否かを判定する。マッチするキーワードをテンプレート属性情報として登録しているテンプレートが検出され

50

た場合は、ステップS 1 0 2の判定が「Y e s」となり、ステップS 1 0 3に進む。

【0 0 9 8】

ステップS 1 0 3では、マッチしたキーワードをテンプレート属性情報として持つテンプレートをメッセージ対応テンプレートとして選択して処理を終了する。

【0 0 9 9】

一方、ステップS 1 0 2において、マッチするキーワードが検出されなかった場合は、ステップS 1 0 2の判定が「N o」となり、ステップS 1 0 4に進む。

【0 1 0 0】

ステップS 1 0 4では、メッセージ添付画像の属性情報から、画像の撮影日時情報を取得して、取得した撮影日時情報に基づくテンプレート検索処理を実行する。例えば、撮影日時が4月4日との情報を有している場合、サーバ1 2 0は、「4月」の属性情報をテンプレート属性情報として持つテンプレートを検索する。なお、サーバの制御部は、予め設定されたプログラムに従って、撮影日時 = 4月4日の情報から、「4月」のみではなく、「春」、「入学式」といった情報へ検索範囲を広げる処理を行った上で、これらの検索情報を適用して、テンプレート検索を行ってもよい。

10

【0 1 0 1】

ステップS 1 0 5では、メッセージ添付画像の撮影日時情報に一致または近い日時情報、または撮影日時情報から展開された情報をテンプレート属性情報として有するテンプレートが検出されたか否かを判定する。

【0 1 0 2】

ステップS 1 0 5において、メッセージ添付画像の撮影日時情報に一致または近い日時情報、または撮影日時情報から展開された情報をテンプレート属性情報として有するテンプレートが検出されたと判定した場合は、ステップS 1 0 5の判定が「Y e s」となり、ステップS 1 0 6に進む。

20

【0 1 0 3】

ステップS 1 0 6では、メッセージ添付画像の撮影日時情報に一致または近い日時情報、または撮影日時情報から展開された情報をテンプレート属性情報として有するテンプレートをメッセージ対応テンプレートとして選択して処理を終了する。

【0 1 0 4】

一方、ステップS 1 0 5において、メッセージ添付画像の撮影日時情報に一致または近い日時情報、または撮影日時情報から展開された情報をテンプレート属性情報として有するテンプレートが検出されなかったと判定した場合は、ステップS 1 0 5の判定が「N o」となり、ステップS 1 0 7に進む。

30

【0 1 0 5】

ステップS 1 0 7では、メッセージ添付画像の属性情報から、画像の撮影位置情報を取得して、取得した撮影位置情報に基づくテンプレート検索処理を実行する。例えば、撮影位置として[緯度：x x時y y分、経度：p p時q q分]といった緯度経度情報が得られる。この緯度経度情報を適用してこれに近い位置情報をテンプレート属性情報として持つテンプレートを検索する。なお、サーバの制御部は、予め準備されたプログラムに従って、緯度経度情報から、地域名、例えば東京、アメリカ、ハワイといった地域情報を取得して、これらの地域情報も利用してテンプレート検索処理を実行してもよい。

40

【0 1 0 6】

ステップS 1 0 8では、メッセージ添付画像の撮影位置情報に一致または近い位置情報、または撮影位置情報から展開された情報をテンプレート属性情報として有するテンプレートが検出されたか否かを判定する。

【0 1 0 7】

ステップS 1 0 8において、メッセージ添付画像の撮影位置情報に一致または近い位置情報、または撮影位置情報から展開された情報をテンプレート属性情報として有するテンプレートが検出されたと判定した場合は、ステップS 1 0 9に進む。

【0 1 0 8】

50

ステップS109では、メッセージ添付画像の撮影位置情報に一致または近い位置情報、または撮影位置情報から展開された情報をテンプレート属性情報として有するテンプレートをメッセージ対応テンプレートとして選択して処理を終了する。

【0109】

一方、ステップS108において、メッセージ添付画像の撮影位置情報に一致または近い位置情報、または撮影位置情報から展開された情報をテンプレート属性情報として有するテンプレートが検出されなかったと判定した場合は、ステップS108の判定が「No」となり、ステップS110に進む。

【0110】

ステップS110では、ランダム選択処理によって、テンプレートを選択し、選択したテンプレートをメッセージ対応テンプレートとして決定して処理を終了する。

10

【0111】

このように、サーバ120は、ポストカード作成に適用するメッセージ対応のテンプレートをメッセージに含まれる様々な情報を適用してメッセージにふさわしいと判断されるテンプレートを選択する。

【0112】

なお、図10を参照して説明したフローはテンプレート選択処理の一例である。先に図7を参照して説明したように、テンプレート選択に適用可能な情報には以下のような情報がある。

(1)メッセージタイトルや本文から抽出するキーワード

20

(2)メッセージ送信日時、添付画像の属性情報から取得される画像撮影日時などの日時情報

(3)添付画像の属性情報から取得される画像撮影位置を示す位置情報

(4)添付画像、または添付画像の属性情報から取得される顔あるいは笑顔検出情報

サーバ120は、例えばこれらの情報をテンプレート選択情報としてメッセージから取得し、これらの情報の1つまたは複数組み合わせ合わせて利用して、メッセージに対応する最適なテンプレートを選択することができる。

【0113】

[5.各装置のハードウェア構成について]

最後に、図11を参照して、データ送信装置110、サーバ120、データ表示装置130ハードウェア構成の一例について説明する。

30

【0114】

図11に示すように、データ送信装置110は、各種のプログラムを適用したデータ処理を行う制御部511、ネットワークを介した通信を行う通信部512、プログラム、パラメータ、画像データ等を記憶する記憶部513、例えば画像やユーザインタフェースを表示する表示部514、ユーザ操作情報を入力する入力部515を有する。なお、例えばタッチパネル式UIなどUIを介した入力可能な構成の場合には表示部が入力部を兼ね備える構成となる。

【0115】

データ送信装置110の制御部511は、入力部515を介したユーザ操作に応じて、写真の撮影、保存。メッセージ作成、画像を添付したメッセージの送信処理などを実行する。前述したように、送信メッセージは、例えば以下の情報を記入または設定可能なフォーマットにしたがって作成されたメッセージである。

40

メッセージ送信先情報(To):例えば「おじいちゃん、おばあちゃんへ」

メッセージ送信元情報(From):例えば「慶子」

メッセージ本文:例えば「お元気ですか・・・」

メッセージ添付画像:例えば写真1~3枚

メッセージ送信元アドレス

メッセージ送信先アドレス

【0116】

50

次に、サーバ120の構成について説明する。図11に示すように、サーバ120は、各種のプログラムを適用したデータ処理を行う制御部521、ネットワークを介した通信を行う通信部522、プログラム、パラメータ、メッセージ、画像データ、ポストカードに適用するテンプレート情報等を記憶する記憶部523（図1の記憶部121に対応）を有する。

【0117】

サーバ120の制御部521は、データ送信装置110から受信したメッセージを記憶部523に格納し、データ表示装置130からの閲覧要求に応じてポストカード形式で表示可能としたデータをデータ表示装置130に提供する処理を行う。また、記憶部523に格納するメッセージに対する様々な属性情報、例えば既読/未読の識別情報の設定や、テンプレートとのリンク情報の設定などの処理も行なう。

10

【0118】

さらに、サーバ120の制御部521は、先に図7～図10を参照して説明したように、各メッセージに対応するポストカード作成に適用するテンプレートをメッセージの構成情報に基づいて選択する処理を実行する。なおテンプレート選択処理プログラムは記憶部523に格納されている。

【0119】

次に、データ表示装置130の構成について説明する。図11に示すように、データ表示装置130は、各種のプログラムを適用したデータ処理を行う制御部531、ネットワークを介した通信を行う通信部532、プログラム、パラメータ、画像データ等を記憶する記憶部533、例えば画像やユーザインタフェースを表示する表示部534、ユーザ操作情報を入力する入力部535を有する。なお、入力部535は、例えば図5を参照して説明したりモコン300に対応する。

20

【0120】

データ表示装置130の制御部531は、入力部535を介したユーザ操作に応じて、サーバ120に対するメッセージ閲覧要求の出力や、図4に示すカードリストからのカードの選択、選択したポストカードの拡大表示処理、未読メッセージの開封処理、アプリケーション設定処理など、様々な処理を行なう。これらの処理は、記憶部533に格納されたプログラムであるメッセージ処理アプリケーションを、CPU等からなる制御部531において実行することによって行われる。

30

【0121】

以上、特定の実施例を参照しながら、本発明について詳解してきた。しかしながら、本発明の要旨を逸脱しない範囲で当業者が実施例の修正や代用を成し得ることは自明である。すなわち、例示という形態で本発明を開示してきたのであり、限定的に解釈されるべきではない。本発明の要旨を判断するためには、特許請求の範囲の欄を参酌すべきである。

【0122】

また、明細書中において説明した一連の処理はハードウェア、またはソフトウェア、あるいは両者の複合構成によって実行することが可能である。ソフトウェアによる処理を実行する場合は、処理シーケンスを記録したプログラムを、専用のハードウェアに組み込まれたコンピュータ内のメモリにインストールして実行させるか、あるいは、各種処理が実行可能な汎用コンピュータにプログラムをインストールして実行させることが可能である。例えば、プログラムは記録媒体に予め記録しておくことができる。記録媒体からコンピュータにインストールする他、LAN(Local Area Network)、インターネットといったネットワークを介してプログラムを受信し、内蔵するハードディスク等の記録媒体にインストールすることができる。

40

【0123】

なお、明細書に記載された各種の処理は、記載に従って時系列に実行されるのみならず、処理を実行する装置の処理能力あるいは必要に応じて並列的あるいは個別に実行されてもよい。また、本明細書においてシステムとは、複数の装置の論理的集合構成であり、各構成の装置が同一筐体内にあるものには限らない。

50

【産業上の利用可能性】

【0124】

以上、説明したように、本発明の一実施例の構成によれば、例えばネットワークを介して送受信されるメッセージなど、文書や画像を含むコンテンツを所定のデザインを持つテンプレート上に展開して表示するために適用する最適なテンプレート選択を行う。メッセージ等に含まれるコンテンツの構成情報、例えばワード、画像の撮影日時、撮影位置情報などを抽出し、これらの情報を検索キーとしてテンプレート属性情報とのマッチング処理を行い、マッチ率の高いテンプレートをコンテンツ表示に適用するコンテンツ対応テンプレートとして選択する。この処理によりメッセージ等のコンテンツ表示に最適なテンプレート選択が実現される。

10

【0125】

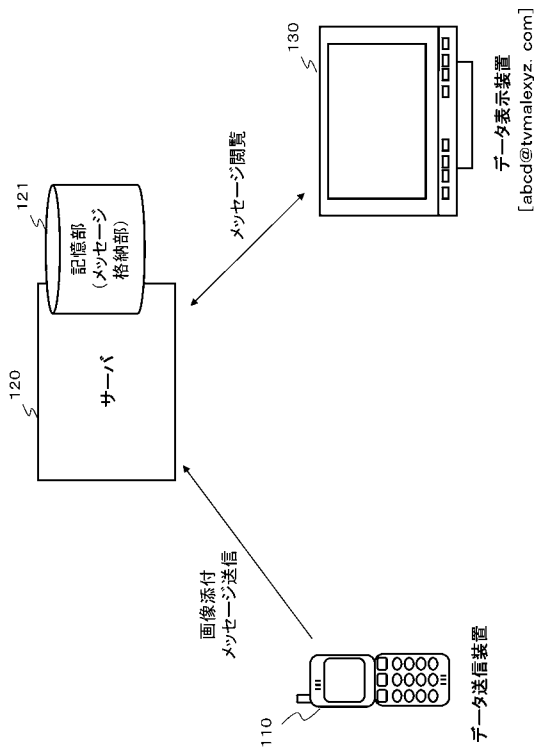
- 110 データ送信装置
- 120 サーバ
- 121 記憶部
- 130 データ表示装置
- 200 表示データ
- 211, 213 ~ 216 ポストカード
- 212 アプリケーション設定カード
- 300 リモコン
- 301, 302 左右指示ボタン
- 303 決定ボタン
- 350 ポストカード
- 351 テンプレート
- 352 メッセージ本文
- 353, 354 画像データ
- 410 テンプレート
- 411 メッセージ本文表示領域
- 412, 413 画像表示領域
- 430 テンプレート
- 431 メッセージ本文表示領域
- 432, 433 画像表示領域
- 382 アプリケーション設定カード
- 511 制御部
- 512 通信部
- 513 記憶部
- 514 表示部
- 515 入力部
- 521 制御部
- 522 通信部
- 523 記憶部
- 531 制御部
- 532 通信部
- 533 記憶部
- 534 表示部
- 535 入力部

20

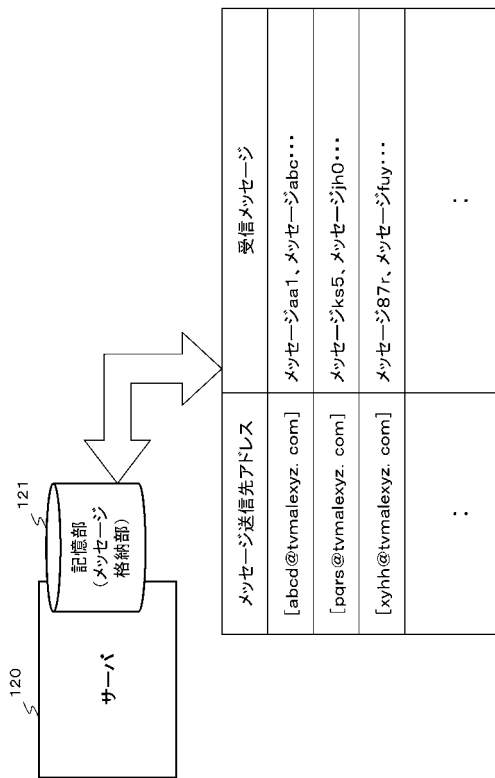
30

40

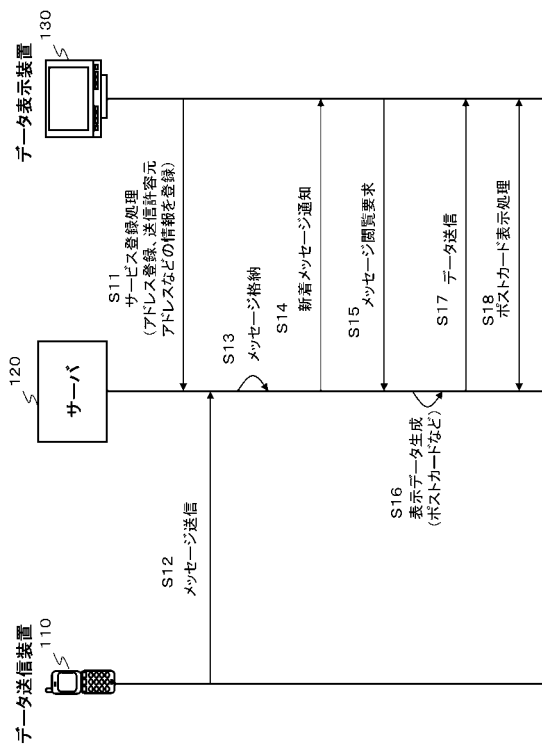
【図 1】



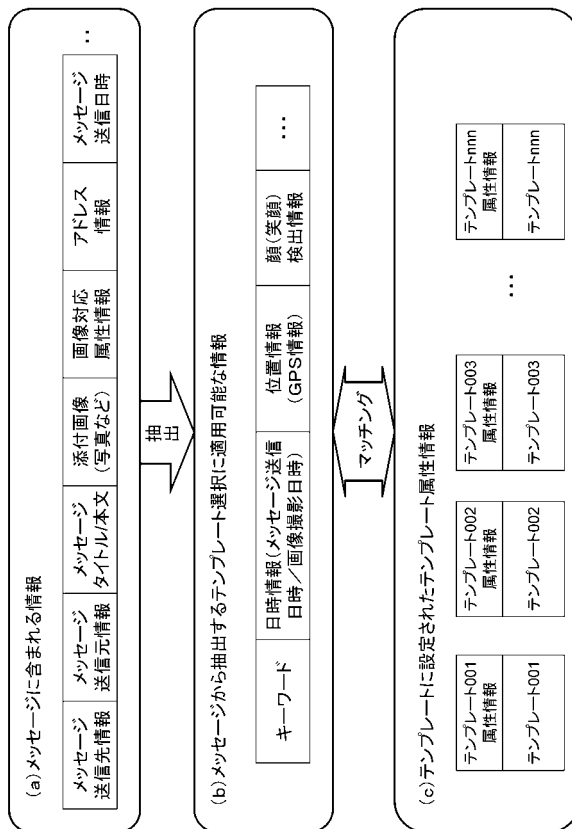
【図 2】



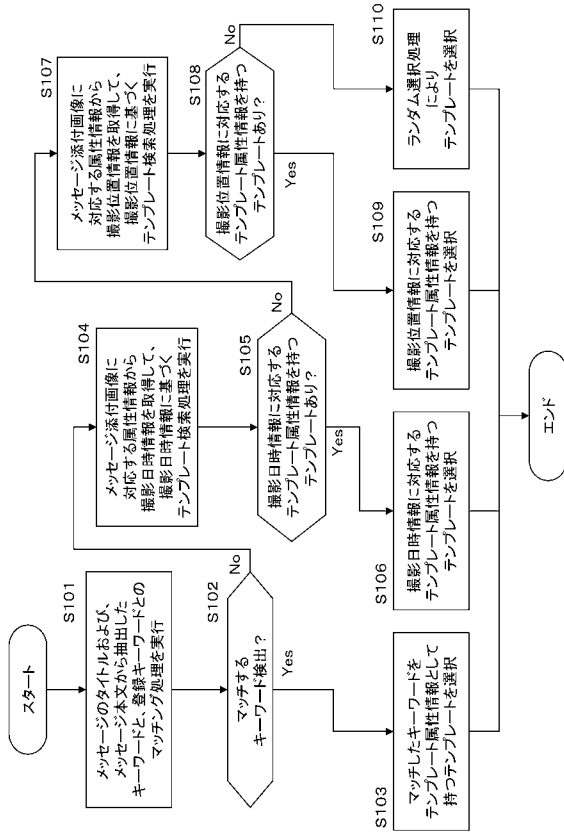
【図 3】



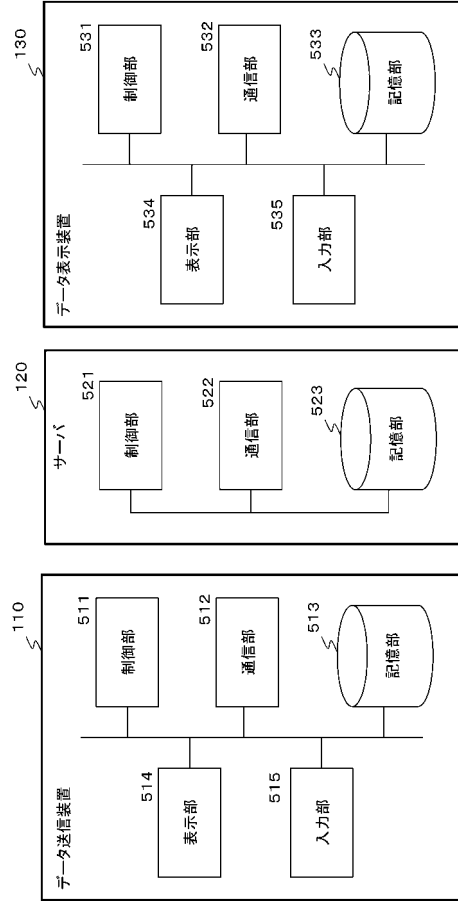
【図 7】



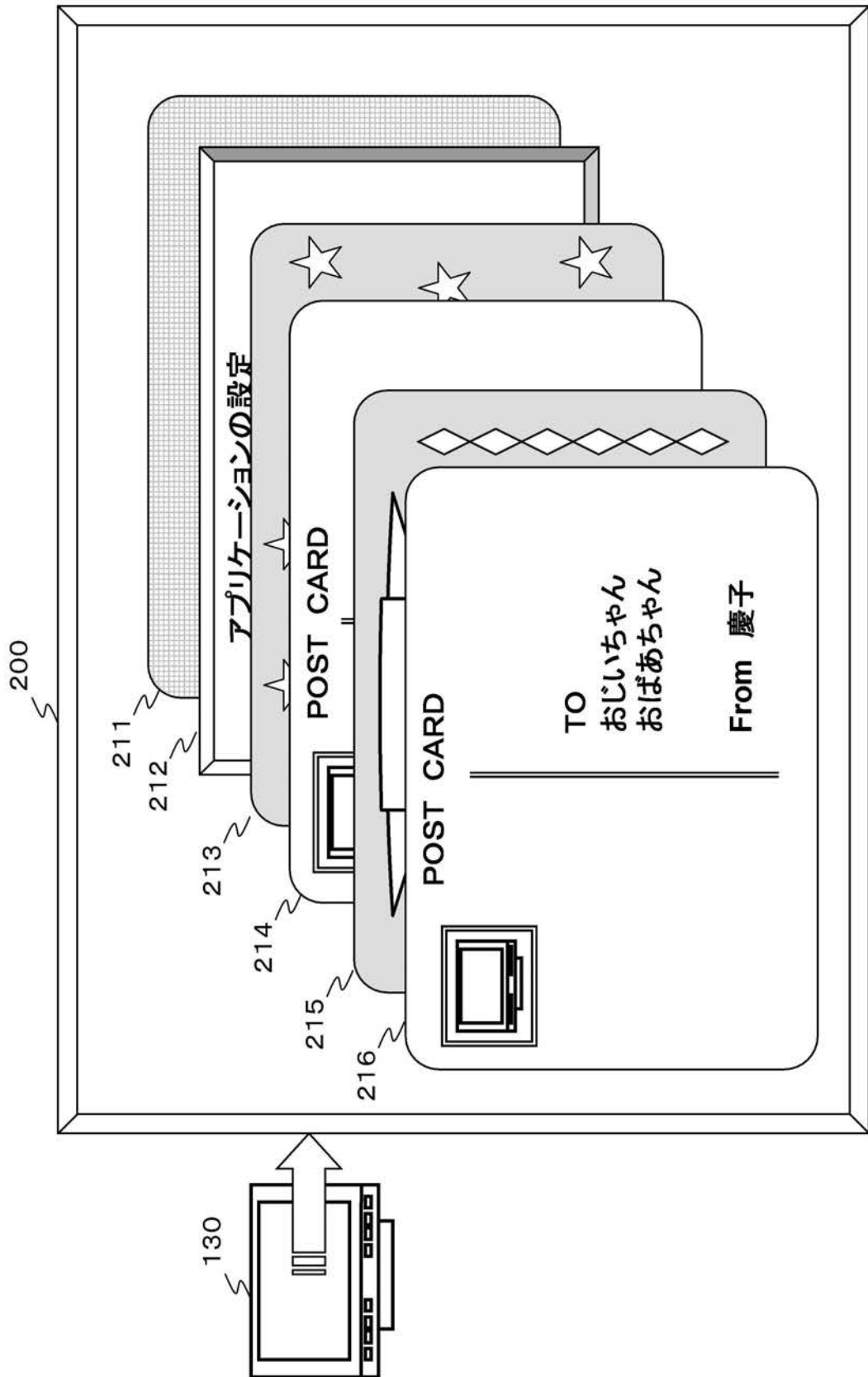
【図10】



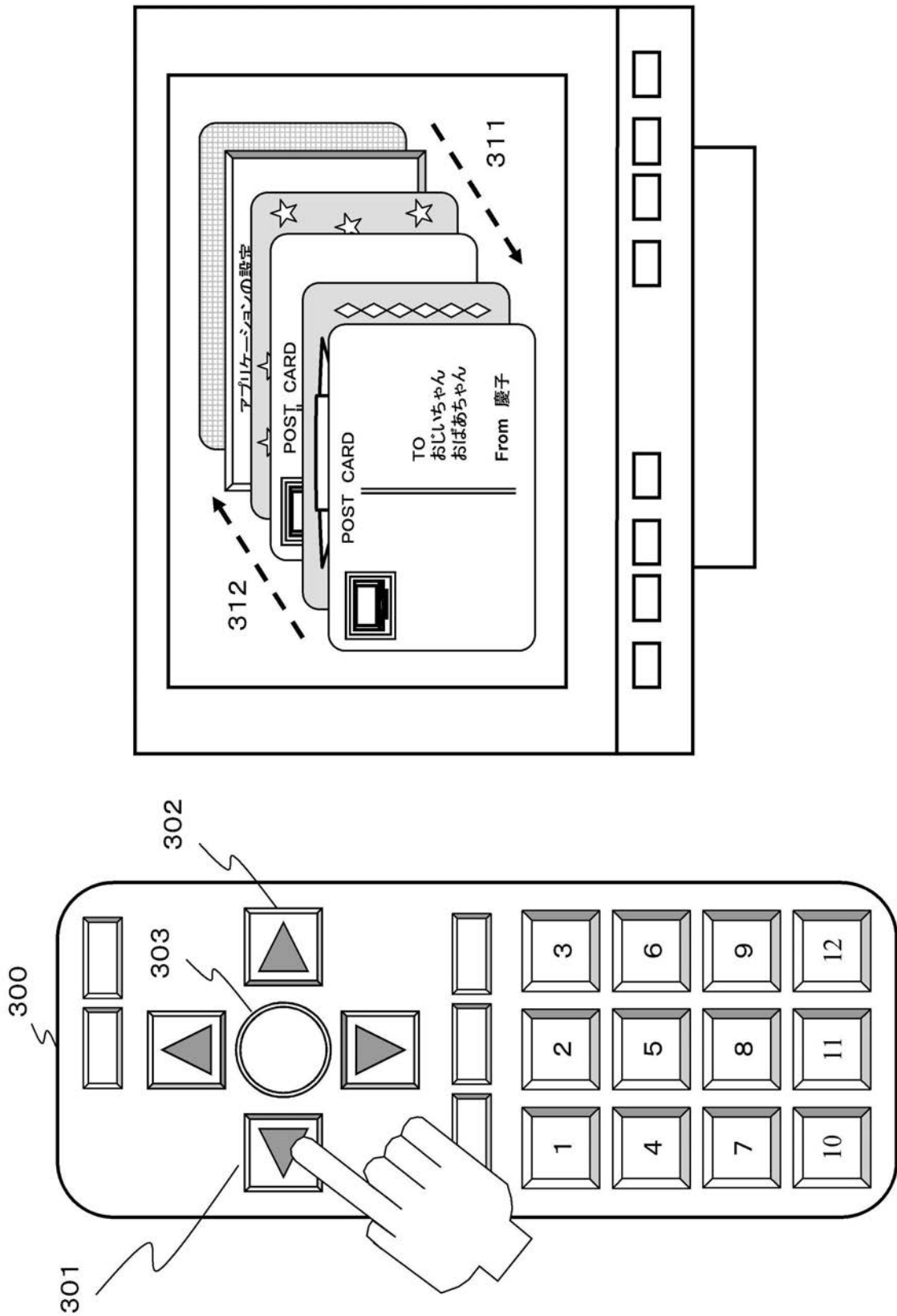
【図11】



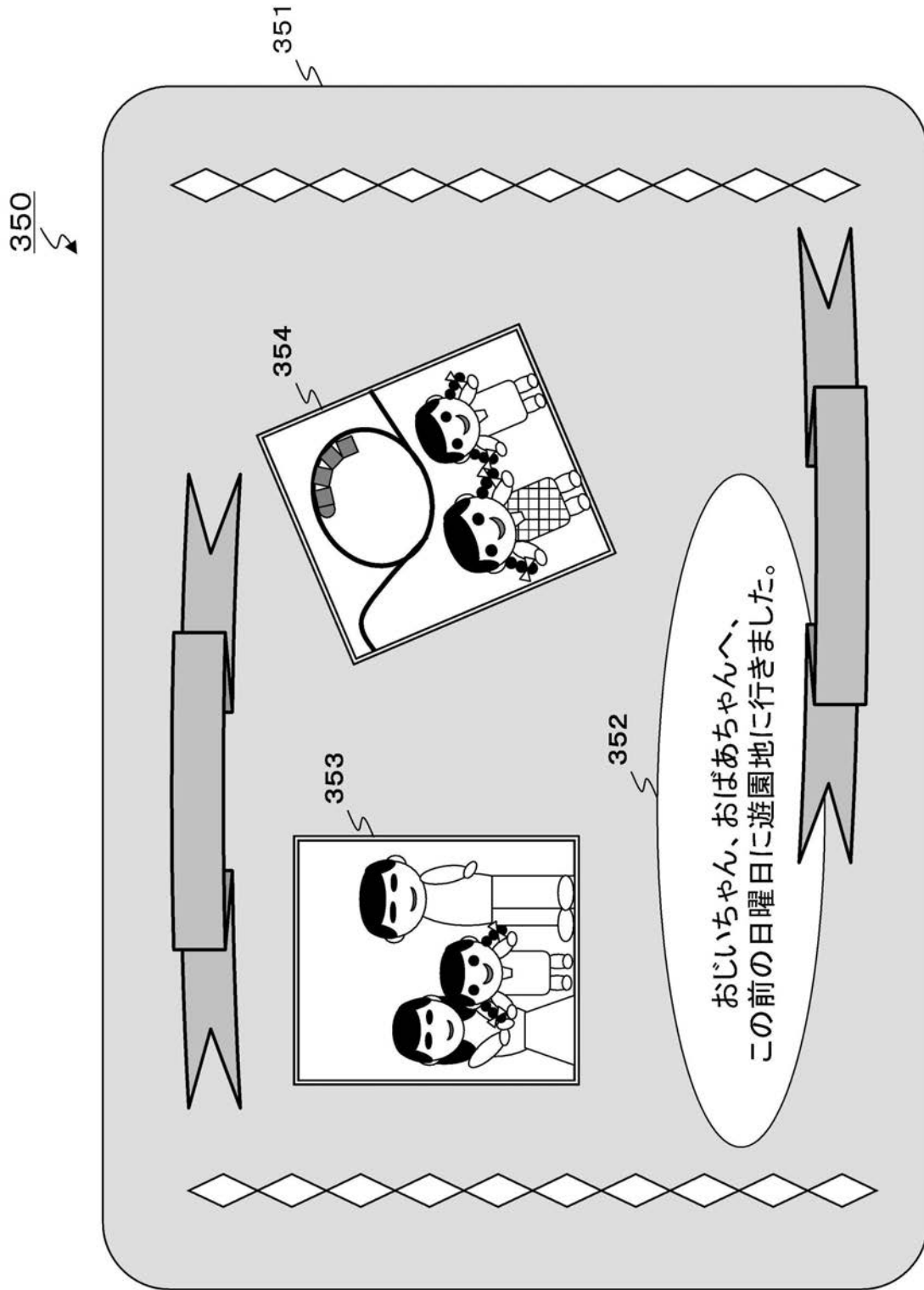
【 図 4 】



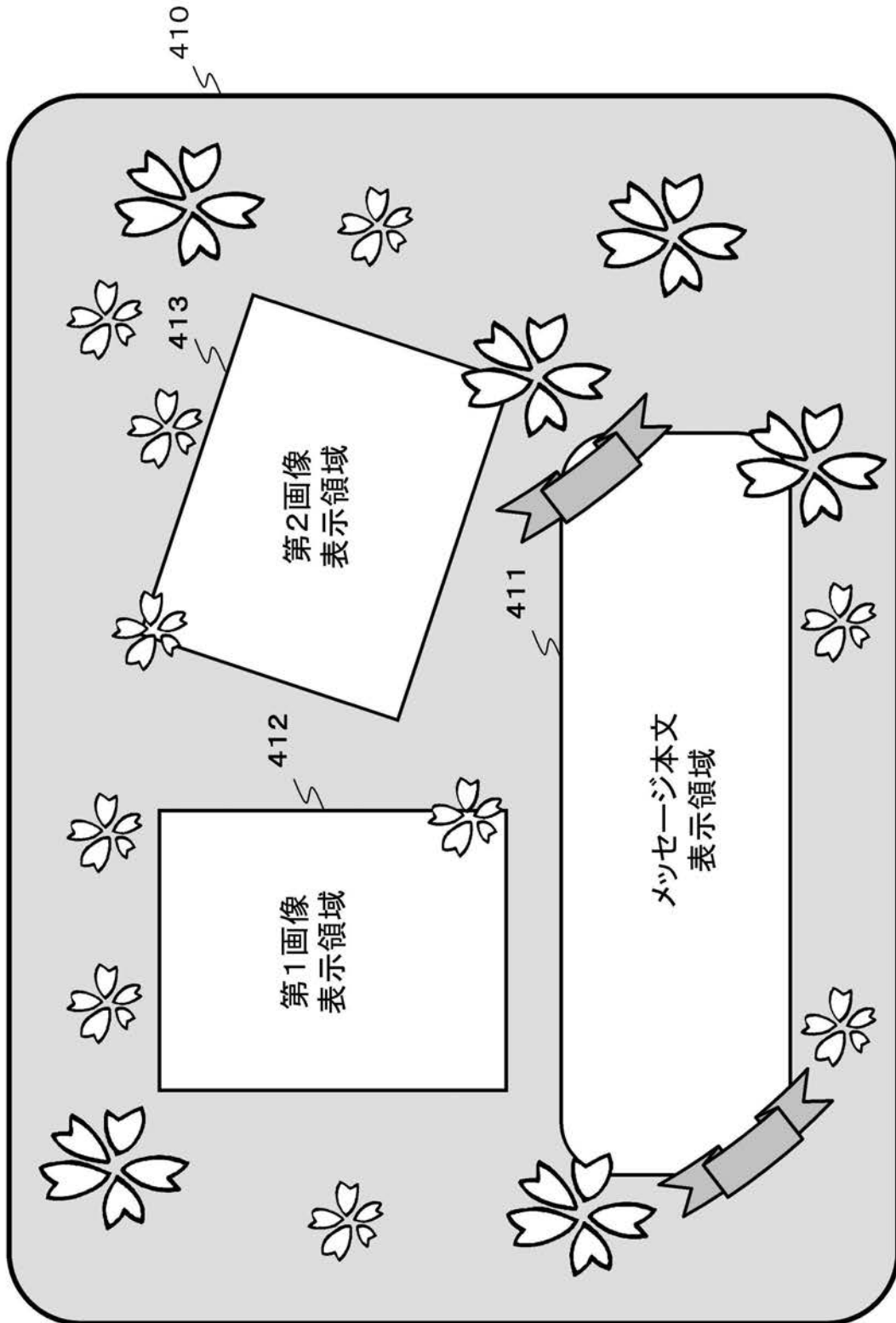
【図5】



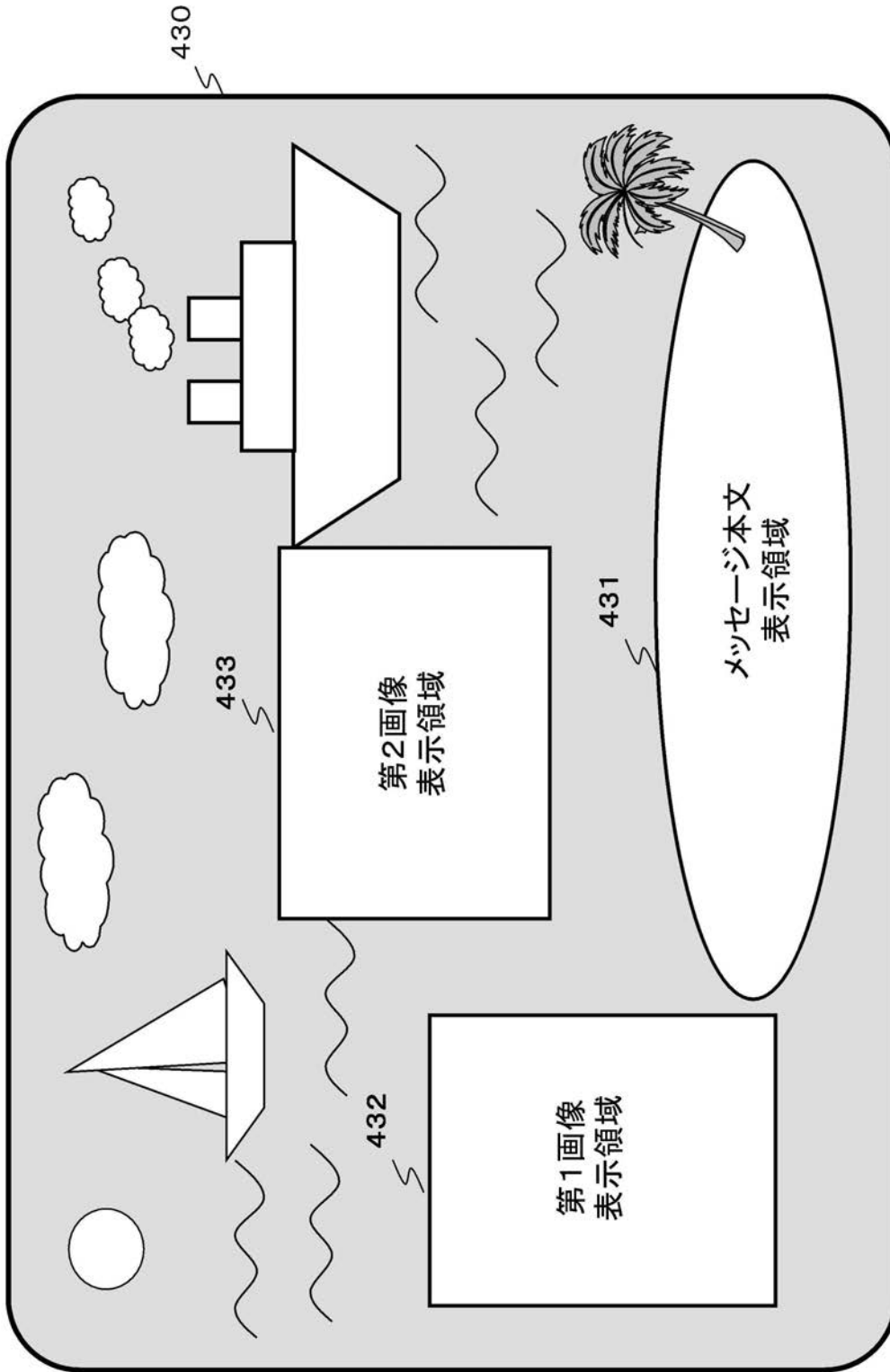
【図6】



【図8】



【図9】



フロントページの続き

- (74)代理人 110000763
特許業務法人大同特許事務所
- (72)発明者 大輪 卓之
東京都港区港南1丁目7番1号 ソニー株式会社内
- (72)発明者 井上 暁
東京都港区港南1丁目7番1号 ソニー株式会社内
- (72)発明者 佐藤 斉昭
東京都港区港南1丁目7番1号 ソニー株式会社内
- (72)発明者 湯原 真司
東京都港区高輪4丁目10番18号 ソニーマーケティング株式会社内
- (72)発明者 伊東 大輝
東京都港区港南1丁目7番1号 ソニー株式会社内
- (72)発明者 宇佐美 貴之
東京都港区港南1丁目8番15号 ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社内

審査官 千葉 久博

- (56)参考文献 特開2008-041081(JP,A)
特開2006-338592(JP,A)
特開2005-340987(JP,A)
特開2005-190269(JP,A)
特開2004-164557(JP,A)
特開2002-189689(JP,A)
米国特許出願公開第2007/0271347(US,A1)
米国特許出願公開第2006/0259511(US,A1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06F 17/20 - 17/26
H04N 5/91 - 5/95
H04N 7/173